

新型コロナウイルス感染症対策に関する議案等を審議

12月定例会は11月30日から12月14日まで、15日間の会期で開催されました。
 令和2年度一般会計補正予算をはじめとする、市長から提案された議案を全て可決しました。また、議員発議により「拉致事件の早期解決を求める意見書」、「『防災・減災、国土強靱化対策』の継続的な推進を求める意見書」を可決しました。(議案と審議結果は、10ページをご覧ください。)



総括質疑

総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を解明するために行われます。
 今定例会では、輝、日本共産党議員団、会派に属さない議員(宮越議員)が総括質疑を行いました。

PCR検査の費用助成
 対象の設定は？

※関連記事6ページ

☀️ 新型コロナウイルス感染症対策として、介護保険施設及び障害者福祉施設に新たに入所する人や、通所サービス等の利用者のうち、県外在住者等との接触により感染のおそれがある人に対し、PCR検査費用を助成する補正予算が提案されました。

答／感染が広がると影響が極めて大きくなる介護保険施設、障害者福祉施設の利用者のうち、ウイルスを持ち込むリスクがある「新たに入所する人」、「通所サービス等利用者」のうち、県外在住者等との接触により感染のおそれのある人に設定した。

旧今井染物屋
 開館時間の検討は？

※関連記事5ページ

☀️ 旧今井染物屋を令和3年4月1日から地域文化の継承及び発信の拠点施設として供用開始するため、条例案が提案されました。

答／関係事業者の人員などを考慮した運営体制や周辺施設の入館者数、高田駅周辺地区の観光客の動向を踏まえつつ、諮問の趣旨である「住民生活に及ぼす直接的な影響」は特段ないと整理されていたことを勘案し、改めて諮問のとおりの開館時間等が適当と判断し、条例案を提案した。

問／今回のPCR検査の助成対象をどのように設定したのか聞きたい。



助成対象者	①：介護保険施設及び障害者福祉施設に新たに入所する人 ②：介護保険及び障害福祉サービスの通所サービス等利用者のうち、県外在住者との接触により感染のおそれがある人
検査方法	医療機関が実施するPCR検査
助成期間	令和2年12月1日～令和3年3月15日
助成回数	①の人：期間内で1回 ②の人：回数制限なし
助成額	①の人：検査費用全額22,000円 ②の人：検査費用の一部20,000円(自己負担額2,000円)

問／地域協議会への諮問に対する答申と異なる内容で条例案が提出されているが、答申をどう受け止め、生かしたのか。



カレンダー

- ▼11月30日(本会議・委員会)
 - ・市長提案説明、総括質疑(3人)
 - ・先行議決議案の3常任委員会、採決
- ▼12月1日～4日(委員会)
 - ・4常任委員会
- ▼12月7日～10日(本会議)
 - ・一般質問(24人)
- ▼12月14日(本会議・委員会)
 - ・委員長報告、討論(3人)、採決
 - ・追加議案の市長提案説明、追加議案の総括質疑(1人)、2常任委員会、追加議案の委員長報告、採決